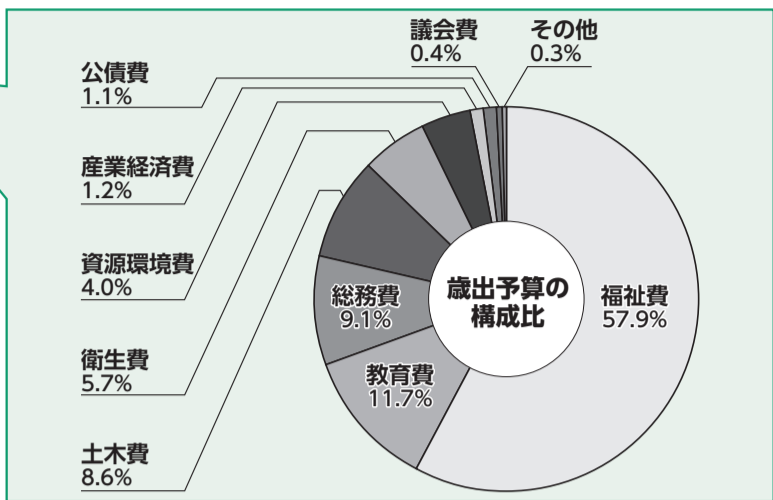


# 令和4年度 予算の概要と予算に対する討論(要旨)

<b>一般会計</b>	<b>2,297億9,000万円 (4.0%増)</b>		
<b>特別会計</b>	国民健康保険事業	558億9,000万円	(5.8%増)
	介護保険事業	452億700万円	(2.6%増)
	後期高齢者医療事業	135億900万円	(8.4%増)
	東武東上線連続立体化事業	1億5,000万円	(66.7%増)

※カッコ内は対前年度比



## 共産党

賛成 予算修正動議  
 反対 一般会計、4特別会計

緊急財政方針を見直し、長引くコロナ禍で疲弊した区民の暮らしを守る予算編成を

- 3年12月末時点で特別区交付金の大幅な増収が判明していたにも関わらず、緊急財政対策を見直さず、3年度末の積立基金残高の見込みが前年度比で約100億円も積み上がるのは異常。
- 基金への積立てが優先ではないと言うが、基金が増え続けていることは事実。緊急財政方針を見直し、区民生活への還元を検討すべき。
- 区民には緊縮財政を強調する一方で、再開発

- やまちづくりは聖域化しており、再開発関係経費に関わる補助金は増額されている。
- 大山駅付近の鉄道立体化と駅前広場の事業認可による用地補償の積算で、今後かかる費用が当初より82億円増加した。区負担分だけでも205億円の税金投入が見込まれており、さらに膨れ上がることを区は否定していない。身の丈にあった計画に改めるべき。

## 自民党

賛成 一般会計、4特別会計  
 反対 予算修正動議

時代の変化に立ち向かい 区民の声に耳を傾け 未来を切り開いていく区政運営を

- 保健所の体制強化や地域の重層的なネットワークの整備を進め、必要な即応体制の確保を。
- 気候変動問題では、エネルギー供給構造の変革だけではなく、産業構造や地域のあり方など、全般にわたる大変革に取り組むべき。
- すべての区民が生きがいを感じ、多様性が尊重される地域社会を構築するため、NPOなどへの支援や国・都との連携強化を。

- 首都直下地震や風水害への備えなど、引き続き強い覚悟を持って防災・減災対策の実行を。
- GIGAスクール構想の一人一台端末については、積極的な活用事例の共有を図り、家庭と教職員の負担を減らすべき。
- ブランド戦略では、地域という物理的に距離の近いコミュニティだけではなく、開かれたまちづくりを進めていくべき。

## 社民党

賛成 予算修正動議  
 反対 一般会計、4特別会計

社会的弱者の視点に立ち、コロナ禍で疲弊し、困難を抱える区民の生命と暮らしを支える予算編成を

- 新型コロナの影響の長期化による生活保護世帯の増加に備え、必要な人員を配置し、「生活保護は権利である」ことについて一層の周知を。
- 深刻な問題を抱える区民に寄り添うには心身ともにゆとりが必要。保育や教育、介護、福祉、保健所などの現場職員の配置や処遇の改善を。
- 会計年度任用職員の報酬時間単価の早急な改善を求める。

- 女性の管理職を増やし、女性の視点を取り入れた施策の展開を。
- パートナーシップ制度の導入に向けた検討・調整を進めることに期待。区民一人ひとりが、ありのままの自分でいられる社会の実現を。
- コロナ禍で様々な苦しみや困難を抱える方が多い中で、各地域の再開発事業を進めることは疑問。区民に対し丁寧な説明を求める。

## 公明党

賛成 一般会計、4特別会計  
 反対 予算修正動議

安定的な財政基盤の確立に向け 迅速かつ果敢な対応を

- 子育て世代に対するオンライン相談の導入を評価する。家事・育児支援を行う産後ドゥーラの派遣など、さらなる取組みを求める。
- 高校3年生までの医療費無償化は、都の補助制度を活用し、5年度からの実施を強く求める。
- 24時間365日の相談受付体制を高齢者・障がい者に拡大することを評価する。ひきこもり対策を含め、包括的な支援体制の構築を。

- デジタル地域通貨の導入による地域経済活性化の取組みを評価する。行政ポイントとの連携など、相乗効果がさらに見込める事業展開を。
- ゼロカーボンシティ表明を評価する。その目標や理念を広く区民に周知することを求める。
- 荒川河川敷のにぎわい創出と水害対策を推進する「板橋区かわまちづくり計画」に期待。個別避難計画作成のスピードアップを求める。

## 民主クラブ

賛成 一般会計、4特別会計  
 反対 予算修正動議

若者が夢を見て目を輝かせるような「住みたくなるまち」の実現を求めて

- 区民生活が急速に悪化する可能性を踏まえ、状況を注視し、機動的に補正予算を編成し、経済政策への積極的な財政出動を行うべき。
- 子ども家庭総合支援センターの開設については、寄り添い合い型の支援から介入まで一貫した支援体制の構築は重要であり、評価する。
- 区立保育園への保育業務支援システム導入は、保護者と保育園双方の利便性を高めるとともに、

- 保育の質の向上が図られるため評価する。
- いたばし子育てナビアプリのリニューアルは、オンライン相談や動画配信、児童館などの事業の予約機能を新たに追加するなど、子育て世帯へのサポート拡充を高く評価する。
- 区制施行90周年記念事業を中心として、だれ一人取り残さず、成長し続ける、暮らしやすい、魅力あるまちの発展を求める。